

野の仏ギャラリー⑦

阿弥陀如来坐像

東多町通玄院

光背・坐像・蓮華台が一体化して造られ、舟形光背の表面を粗く仕上げています。頭部は螺髪状を呈し、顔の表情は穏やかです。両手を胸元に上げ、親指と人差指で輪を作り、說法印の形をとっています。阿弥陀如来は西方浄土にあつて一切衆生を救済するとされます。

銘「明治十九戌三月立 第五十三番 阿弥陀如来 円明寺 當町 檜枝勝太郎 同性勘太郎」



○如来は真理に到達し、修行を完成した者を称します。
○螺髪はカール状の頭髪です。
○銘の第五十三番は、四国八十八箇所順番です。圓明寺は現在の松山市にあります。

多市郷土資料館長 藤井伸幸

今月の論語

学ばて時に之を習う
亦説ばしからずや

学んで練習するとすっかり自分のものになってくるので、とてもうれしい。

今月の帰宅放送は、東原岸中央校9年の笹川心香さんです

教育長コラム

ちょっといい話



「発達障がい」

入学から半年、校長室の床につぶせて描画に没頭した子が、今やSNSで色々と発信する高校生。母親は、幼児期には地域の集まりで「躰が悪い、どこの子だ、またこの子か」と言われて、子育てに苦しんだ。しかし、入学前の検査がきっかけで受診、診断名がついてほっとした。その帰り道、発達障がいに関する本を買って求めた。「私のせいじゃなかった。接し方が逆だった」

今日、出会った母親は、発達障がいのあるわが子を「遅れているから」と表現。「個性であること。かつての教え子は仕事に就いていること」を伝えたら、目が一瞬で赤く潤んだ。

どうかご自分を責めたり、悲観しないでください。

大変な子育ても、温かく見守り励ます多市でありたいと思っています。

教育長 田原優子

市民文芸

短歌《麦の芽短歌会 互選》

- ◆ ほんのぼのと湯気たつうどんすすりつつ
この楽しさや友と対いて 川浪 信子
- ◆ さがしてた水引草とネジ花に
息の住む家の庭で逢えたり 浦野 嘉恵
- ◆ 感謝状渡すと言う夫それよりも
ゆつくり旅する休暇が欲しい 梶原恵美子
- ◆ アイデアが途切れた今は落ち着いて
君の笑顔を思い出すとき 野崎 隆幸
- ◆ 友好とう意気もてはじめし中国へ
草の根の旅 三十六年 尾形 節子

俳句《互選》

- ◆ 今生の愛さ晴らすごとと 柘榴裂け 富樫 明美
- ◆ 稔り田や風に和すごとと タクト振る おおやはな 中嶋 清子
- ◆ すすき原走る郵便バイクかな 武富 律子
- ◆ 台風の近づく空の焼けにけり 本村 則子
- ◆ 山里の時の移りや 薄紅葉 則子

川柳《多市川柳会 互選》

- ◆ フレッシュな身体が走る ラガーマン 西山 残月
- ◆ 終活をせがむ孫等の胸算用 大谷 和
- ◆ 家も売れあとは希望の施設入り 松下 修
- ◆ 資産無し争いも無し 遺産分け 田中 正春
- ◆ 過労死は無いかと蟻に問うてみる 三塩不二子